

# 「生涯を通じた障がい者の学び支援事業」について【社会教育課】

R4～R6(「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」国委託)

## ＜障がい者の学びを巡る大分県の現状と課題＞

- 卒業後、自立や社会参加、健康維持のための体育的・文化的・芸術的な学びを継続して行える場やプログラムが少ない。
- 生涯学習に関するニーズや実態(活動団体や活動内容等)を把握できていない。
- 障がい当事者が生涯学習に関する情報を得ることが難しい。
- 生涯にわたり学び続ける必要性についての県民の理解や協力への意識付けが十分でない。

## ＜国の動向＞

障害者権利条約(H26)  
障害者差別解消法(H28)

## 共生社会の実現に向けた、障がい者の生涯学習環境整備を支援

## ＜今年度取組の概要＞

### (1)「推進協議会(コンソーシアム)の実施」・・・第1回 6/23 第2回 11/16 第3回 2/22(予定)

【内容】関係機関のネットワーク化を図り、情報や課題を共有し、取組を協議

【構成】県教委、県障害者社会参加推進室、特別支援学校、大分大学、大分市教委、別府市教委、県社会福祉協議会、企業、障がい者支援団体

### (2)調査研究(アンケート)・・・令和4年9月実施 回答数 1,080件(回収率 71%)

【対象】①当事者②保護者・教職員・支援者③社会教育関係施設④市町村生涯学習担当課

【内容】学校以外の学びについての実態やニーズ(取り組みたいこと)、学びをするうえで必要なもの(情報、送迎等)など

【分析】・「スポーツ活動」「余暇活動」のほか、「個人および社会生活に必要なスキル(金融教育、ITモラルなど)」の需要が高い。  
・大分市、別府市以外の地域では「特に何も活動していない」の割合が高い。・送迎を必要とする方が多い。

### (3)実践研究

#### 【モデル公民館】豊後大野市千歳公民館「ひょうたんカレッジ」(全5回)

(内容)第1回:相互理解(協力者養成) 第2回:卓球/バレー、ポッチャ  
第3回:お金について、琴 第4回:門松作り、おやつ作り

(特色)・竹田支援学校や地元事業所と連携して計画、実施  
・老人クラブや婦人会、ボランティアグループなどの協力を得て実施  
・毎回25名程度が参加(うち障がい当事者10名程度)

琴・卓球バレーの様子(公民館)



#### 【青少年の家】ワンデイキャンプ(作業所との連携)

香々地 3回実施 九重 1回実施

参加者:計139名(うち障がい当事者111名 施設職員28名)

内容:創作活動、プラネタリウム鑑賞、軽スポーツ

工作・ペタンクの様子(青少年の家)



#### 【大分大学】生涯学習講座(公募)

受講者:知的障がい者4名(全講座参加)

内容:全5回 ダンス・太極拳(1時間)+座学(ワークショップ)(1時間)

①11/12 ②11/26 ③12/3 ④12/10 ⑤12/24

受講者1名あたり学生ボランティア2名が支援。特別支援学校教員2人がメンターとして全体を支援

### (4)普及啓発

#### 【研修】公民館職員研修

①7/14 講義「秋田県の障害者の生涯学習支援モデル事業」<秋田県能代市> 参加者87名

②9/16 体験「ポッチャ、フライングディスク、卓球バレー」<大分県身体障害者福祉センター(あすぴあ)> 参加者31名  
講義「公民館が行う知的障がい者支援」<兵庫県朝来市>

#### 【広報】障がい者の生涯学習専用WEBサイト「かたろうえ大分」開設

【啓発】・特別支援学校高等部3年生および保護者対象の講座「卒業後にやりたいことを考えてみよう!」を2月予定  
・九州・沖縄ブロックコンファレンス(2/4 別府市市民会館)

### (5)今後の課題

全県的な普及に向けた取組

・今年度実施した講座のブラッシュアップ、モデル公民館の拡充、「かたろうえ大分」の機能及び内容充実